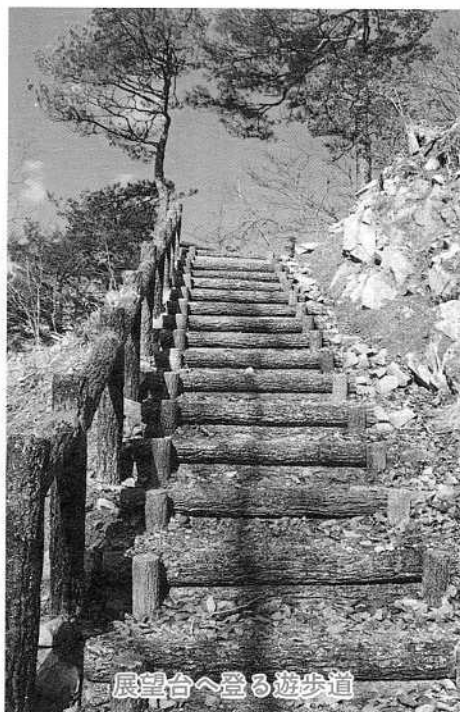


新しい風景…

村の中心部、中学校前の白川に架けられていた橋（仮称沢尻橋）はこのほど、「平成橋」に、その対岸の公園は「鮎ヶ瀬公園」と名付けられました。そこに作られた標高 395 ㍎の展望台に登ってみました。

ここからは白川や山々、平の街並が一望できます。いつもは、別の角度から見ている景色も全く新しく見えます。

新しい年の新しい風景です。



展望台へ登る遊歩道

広報

ひがし しらかわ

1994
平成 6 年

1

No.391

- 発行/東白川村
- 編集/企画財政課
- 岐阜県加茂郡東白川村神土
〒509-13 ☎05747(8)3111
- 印刷/下呂印刷株式会社

人口の動き

— 11 月末住民登録人口から —

世帯数	9 0 7 世帯
人 口	3,456 人
転 入	10 人
転 出	2 人
出 生	0 人
死 亡	1 人

先月と比較して 7 人増
 昨年同月と比較して
 13 人増



今年の干支は戌—犬は家畜の中でも最も人間と付き合ひの古い動物だといわれています。

ところで正月の遊びの定番「犬棒カルタ」の「犬も歩けば棒に当たる」はどんな意味だと思いますか。本来は「出歩けば災難に遭う」ということです。しかし最近、歩き回ればチャンスに会えると解釈する人が多いとか：いずれにしても今年はいいチャンスをつかみたいですね。村内に戌年生まれの方は二百八十一人（十一月末現在）。村に在住する戌年の最初に生まれた方に新年の抱負を伺いました。



古田 千代さん(95)
M31.12.30生(須見)
お日さまに負けない
いよきを心掛けたいです。
(M31年生 1人)

新年の話題

いよいよの三月、
待望の二つの施設が完成します



村長 桂川 眞郷

こもればの館竣工、十二年にわたる土地改良事業の完成、道路水道整備の推進、保健福祉の充実など住みよい生活環境づくりに全力を挙げて来ました。また

ゆとりと豊かさが実感できるふるさとづくり

平成六年の年頭にあたり謹んで皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。旧年中は内外共に変革の時代を感じる出来事が多くありました。七月の衆議院総選挙と細川連立政権の誕生、政治改革、コメをはじめ貿易自由化問題、深刻な経済不況に加えて異常気象による凶作全国各地での風水害、地震災害で多くの人命財産が失われました。わが村におきましては、幸いにも災害はなく冷夏と長雨による農作物被害も生産者皆さんのご努力で、米以外は前年を上回る成績となり、木材関連地場産業と商工業活動も地域の経済的活性化に成果を挙げられました。村づくり諸事業も、

新たに迎えた平成六年は建設中の役場庁舎、ハナノキ会館が今春完成します。健康長寿村の拠点となる保健センターの建設を予定し本年も新しい時代に向けて美しい自然を守り、夢と活力ある村づくり諸事業の積極的推進と、文化施設の完成によって郷土芸能と文化活動を充実し、ゆとりと豊かさが実感できるふるさとをめざし、村民皆さんのご協力をお願い申し上げます。

平成五年度事業の中で最も大きなものといえば、文化施設はなのき会館の建設と役場庁舎の建設でしょう。村民待望の両施設は、この三月の完成を目指し現在急ピッチで工事が進められています。

夢がふくらむ文化施設はなのき会館

平成三年度から工事が進められてきた「こもればの里整備事業」。これまでに総合運動場、宿泊体験施設こもればの館、ハナノキロードが作られ、いよいよこの三月にはこもればの里の最後の施設となる文化施設はなのき会館が完成します。

まさに村民が待ち望んでいた本格的文化施設となるはなのき会館は、これまで村の施設には無かった機能を満載した施設となります。外観は、今までに作られた施設と同様に「田舎らしさ」を残

立村百年（平成元年）を機に実施した住民アンケートや、各種団体からの要望でも「文化施設が欲しい」という声はたくさん寄せられました。そういう意見がもとになって総合計画が見直され、「こもればの里構想」の中に、はなのき会館が盛



舞台をイメージしたはなのき会館



今井 美里さん(35)
S33. 1. 9生(陰地)
第1に健康。日々感謝の気持ちを持って送りたい。
(S33年生 44人)



今井さち子さん(47)
S21. 1. 19生(大沢)
何をやるにも一生懸命頑張りたいと思います。
(S21年生 27人)



安江 千春さん(59)
S9. 1. 5生(大口)
健康に気を配り、何事も一生懸命に取り組みたいです。
(S9年生 77人)



松岡 証平さん(71)
T11. 1. 10生(大明神)
健康に気をつけて1年間を過ごしたいと思えます。
(T11年生 40人)



加藤わかあさん(83)
M43. 3. 11生(栃山)
ゲートボールが1番の楽しみ。丈夫で1年頑張りたい。
(M43年生 21人)



今井ちなつさん(23)
S45. 1. 5生(大沢)
家族みんなが健康で過ごせることが1番の願いです。
(S45年生 27人)



今井 忠樹さん(11)
S57. 1. 8生(陰地)
中学生になったらバスケット部に入って頑張りたい。
(S57年生 44人)

簡易水道を始め農林土木福祉教育各般にわたり施設整備、建設が進められ、中でも役場庁舎と文化会館の着工は村民注目のうちに今春三月の完成が待たれています。また、村史に残る土

民総力の知恵と力で守り、創らなければなりません。本年も何かと厳しい年かと思われ、尚一層議会へのご叱責とご指導をお願い致します。

た。こもれびの里の整備、無く冷害等は最小限にとどまり、まずは平穏な一年で済ませたい。健康に気を配り、何事も一生懸命に取り組む。

者も高齢者もこの自然豊かな里で安心して暮らせる二十一世紀を迎えるために村

害、加えて長引く経済不況、政治においては腐敗不信が国民の怒りとなり、政権交代と何かにつけ歴史に残る一年でした。村では災害も

刻な問題であると思えます。こうしたことを含め、若

び申し上げます。昨年未曾有の異常気象による農作物の被害と各地での地震や台風による大災害、

目を指し、保健センター建設を含め計画策定がされています。また、村の基幹産業である農林業を始め木工、

明けましておめでとうございませう。新春を村民それぞれで迎えられたこととお慶び申し上げます。

は、国が定めた「高齢者保健福祉



村議会議長
古田 眞之助

「健康長寿村」の実現をめざして

地改良事業が大きな成果を残してほぼ完成し、その記念大会が行われたことにも大きな意義を感じます。高齢化対策について

特色を生かした、保健、福祉、医療の一体的推進による「健康長寿村」の実現を目指し、保健センター建設

木造建築の後継者不足は、森林資源に頼らざるをえない本村にとって重大かつ深刻な問題であると思えます。

方法を考えていただけますか？お正月には家族そろって考えてみてはいかがでしょうか。

みなさんに親しまれる役場庁舎をめざして

明治二十二年、東白川村が誕生して今年が百五年。この長い村の歴史の中で役場庁舎を新築することは、初めての経験となります。

旧庁舎は、明治四十二年の小学校の移転に伴い、その校舎の建物を購入したもので、約一世紀の長きにわたり、村の正面玄関として頑張ってきました。しかし時代の流れとともに、旧庁舎では、

来たるべき二十一世紀を



工事の進む役場庁舎

新しい庁舎は、二十一世紀の村の中枢機関にふさわしい設備を備えることはもちろんですが、一番の願いは、住民のみなさんに「村の新しい顔」として親しんでいただけるような庁舎を作っていくことなのです。

このまま予定通り進めば、三月初旬には完成し、新年度からは、新しい庁舎での事務が始まります。

考えれば、対応しきれない状況となり、村始まって以来初めての庁舎建設となりました。

庁舎の建設工事は、旧庁舎解体後の六月から始まり、現在までに屋根瓦や、サッシなどの建具類も入り順調に進んでいます。

いぬとし 成年にこんな期待をしています

広報座談会

平成六年は、戌年。去る十二月六日ふるさとセンターにおいて大正十一年生まれから昭和四十五年生まれの成年の年男、年女のみなさん八名にお集まりいただき、村長、村議会議長さんと交え、平成五年の反省やら新年への期待、また、村の将来展望などを話し合っていたく広報座談会を開催しました。

今回のテーマは「環境」。参加者のみなさんからは、日ごろ感じていることや村への注文などたくさん出されました。

(司会進行/嶋倉企画財政課長)

やっぱり健康

が一番大切!

司会 本日は、年の瀬のお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。来年は戌年です。みなさん戌年生まれ代表として、今年の実省や新年への期待、また村への要望などをお聞かせ下さい。

村長 今年一年を振り返るといろいろな面であり良い年ではありませんでした。これからは今までのような物優先から心の時代となります。そうした意味も込め、ゆとりと豊かさの感じられる村づくりのために屈託のないご意見をお出し下さい。

古田議長さん 今年は今までの経験の無かったような激動の一年でした。本日は、その反省も踏まえ、また村の抱える諸問題を考えながら村の将来展望などを希望に満ちた話を聞かせてもら

いたいと思います。

▼司会より村の姿の説明

今井眞平さん 本日参加している中の最年長でずいぶん年をとったとつくづく感じます。私たちの年代もぼつぼつ終わりに近づき少し寂しい感じがしますが、今になって思うことは、まめで過ごすことが人生で最も幸せではないかということですね。

田口光男さん いつも思うことですが昭和九年ころの生まれの者は、戦前、戦後の辛く悲しい時代を経験しており、そのことを思い出すとどんなことでもまず耐えられます。今年の経験を基本に、今後少しでも努力して良くなれば良いと思います。犬は人を安らげる大事な動物です。新年は犬のように元気に頑張りたいです。

今井桂子さん 私は常に健康には気をつけてやっていきたいと思っています。去年から味の

館を利用し、朴葉ずしを作っていますが、来年もまたやりたいです。夢は道路端にもう少し花を植え、村外から来る人に喜んでいただけたらということです。

樋口新祐さん 今年、風邪をひくことはあつても家族全員が健康で過ごせたことが一番良かったです。子どもが一番手のかかる時期で他に目を向けることがなかなかできませんが、自分なりにいろいろなみなさんと協力してやりたいと思います。

大坪里美さん 不景気の中でしたが新しい仕事で軌道に乗り、その点で私にとっては良い一年でした。将来の村のことを考えると、若者の定着のために若者向けのアパートなどをとお考えになつてはいいかがでしょうか。

中島泰幸さん 反省というか、今年消防や観光協会などいろいろ役をやらせてもらって感じたことは、今まではいいこと、をいってそれで終わりでしたが、三十五歳にもなるとある程度責任を持って行動しなければいけないということを感じました。

安江房子さん 今年も子育てに追われた一年でした。子どものことといえば、こもればの館での研修は大変よかつたと思



昭和21年生まれ
樋口新祐さん (西洞)



昭和9年生まれ
今井桂子さん (大沢)



昭和9年生まれ
田口光男さん (下野)



大正11年生まれ
今井眞平さん (日向)



村議会議長

古田眞之助さん



村長

桂川眞郷

眞平さん 先日ハナノキロードを通り、立派な道になったと感心しました。今後村の拠点となるでしょうから乱開発だけは

と豊かさの感じられる村づくりのため必要な環境面についてお話を聞かせて下さい。

と豊かさの感じられる村づくりのため必要な環境面についてお話を聞かせて下さい。

ゆとりと豊かさのある村づくりのために

田口志穂さん 一番大きかったことは仕事上商工会館の建設です。これまでは村民センターの一室でしたから大切なお客さまでもそこの応対でしたが今胸を張ってお迎えてきます。

ます。また、上の子が中学へ入り、授業参観で久しぶりに学校へ行き、校舎が古くなったと感じていました。今後の計画に校舎建設の話があるのはとても良いことだと思います。

光男さん 町からみえる人は「自然が見たい、心が安らぎたい」という気持ち強いと思います。できるかぎり自然をそのまま残して欲しいと思います。

桂子さん 私は大水の後など川へごみ拾いに行きます。農薬の空瓶やビニールなどがかなり流れ着いているのは驚きます。

桂子さん 私は大水の後など川へごみ拾いに行きます。農薬の空瓶やビニールなどがかなり流れ着いているのは驚きます。

中島泰幸さん 観光協会の長期計画委員の中で白川の有効利用の話が出ています。今の白川の状態は昔とはずいぶん変わりました。私は鮎釣りが好きで県外の河川にもよく行きますが有名な所は乱開発で川が変わってしまっています。整備する際にはもつと工事方法を研究するなど考えて欲しいと思います。

議長さん これからの時代の環境を考えるうえで水の話は避けて通れないものだと思います。すがいかでしよう。

議長さん これからの時代の環境を考えるうえで水の話は避けて通れないものだと思います。すがいかでしよう。

新祐さん ゴルフ場などの開発を止めたことは正解だったと思います。また、他町村では別荘からの生活排水が問題になっているという話を聞きました。

村長 確かに昔と比べ水量は減っていますし、川に手を加えると元通りにはなかなかありません。しかし歩道など住民の安全を考えた工事もあり、景観との調和が大切だと思います。また、水の汚れの原因となる家庭雑排水を防ぐための合併処理浄化槽の普及にも努めています。

議長さん 白川の問題は、東白川ばかりでなく流域の町村議会を通じて話し合っています。今後もみなさんの意見を尊重し取り組みたいと思います。

議長さん 白川の問題は、東白川ばかりでなく流域の町村議会を通じて話し合っています。今後もみなさんの意見を尊重し取り組みたいと思います。

議長さん 白川の問題は、東白川ばかりでなく流域の町村議会を通じて話し合っています。今後もみなさんの意見を尊重し取り組みたいと思います。

議長さん 白川の問題は、東白川ばかりでなく流域の町村議会を通じて話し合っています。今後もみなさんの意見を尊重し取り組みたいと思います。

座談会参加者



昭和45年生まれ 田口志穂さん (下親田)



昭和33年生まれ 安江房子さん (大明神)

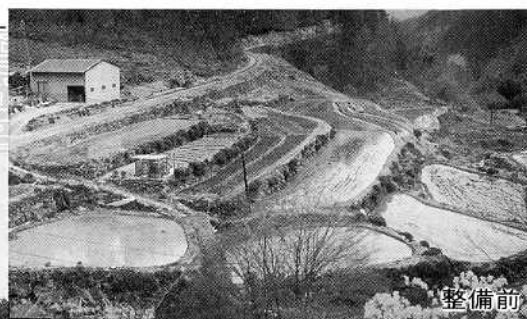


昭和33年生まれ 中島泰幸さん (平)

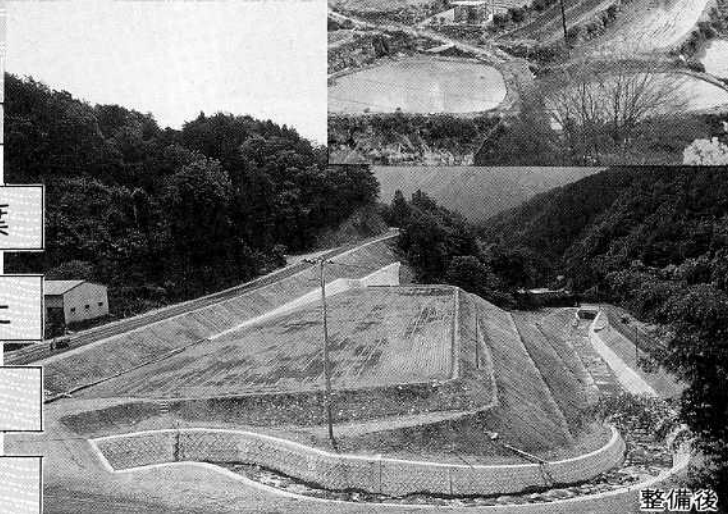


昭和21年生まれ 大坪里子さん (上親田)

事業が完了



整備前



整備後

18枚の田が1枚の農地に…
(神土西工区)

“新しい農業を目指して..を合言葉
に昭和56年度からスタートした
ほ場整備事業。13年を経過し、
今年度区切りの年となります。

村の姿を一変させた大事業

昭和五十六年度モデル地区として村のトップを切って日向地区でスタートしたほ場整備事業。翌五十七年度からは「畑総」という呼び方で親しまれる県営畑地帯総合土地改良事業として全村で行われてきました。

畑総の最終年度は、平成七年度となりますが、換地作業や支線農道工事など一部を残し、そのメインともいえる面工事と基幹農道工事が今年度終了します。

昭和五十六年度から平成五年度までの十三年間の事業費と残り二年間の事業費の予定を合わせた総事業費は約六十八億円となり、その内畑総の事業費は、約六十七億円です。畑総事業は、事業主体が県であり、その事業費については、全体の八十割が国費、県費でまかなわれます。残りの二十割、約十三億円余を村と四百六十七人からなる受益者のみなさんが負担金として県へ納めるしくみとなっています。



新設された百年道路(後山線)

このように長い年月と巨額のお金を投じた一大事業であるほ場整備に踏み切った大きな理由は、農家の経済ウエイトを米づくりにゆだねていたそれまでの農業形態が、国の減反施策など大きな転換期を迎えていたことによりです。

さらには農業を機械化して、省力化し、生産性を高めたいといった住民からのほ場整備を望む声も高まってきました。

こうした背景の中で、昭和五十六年度に打ち出した「村づくり総合計画」の中にはほ場整備事業が組み込まれ、モデル地区となった日向工区を含め、全村を一工区に分け、長期計画での実施へと踏み切ったのです。

また、この事業を円滑に推進していくことを目的に昭和五十七年農家のみなさんを中心に組織した「東白川村土地改良組合」が結成。翌五十八年から、「東白川村土地改良区」として新しい村づくりを進めてきました。

越原上(大明神)	越原中(黒山)	越原下(曲坂)	神土東第1(上親田)	神土中第1(中通)	神土東第2(大口)	神土中第2(神付)	神土西(西谷)	五加東(柏本)	五加西(宮代)	合計
21.3	21.2	7.6	21.6	4.5	5.5	32.8	24.6	15.1	8.4	162.6 ha
20.6	18.8	9.1	14.1	4.0	6.0	16.7	17.8	9.0	6.0	122.1 ha
2,324	987	—	1,926	265	520	3,155	2,572	—	—	11,749 m
7	7	6	8	2	4	6	7	4	5	56路線 (16,499 m)
4	2	2	1	—	1	1	2	—	1	14基

13年の歳月を経て ほ場整備

成果はあらゆる分野で

それでは、このほ場整備事業は、村をどのように変えたのでしょうか。

最終となる平成七年度までの畑総事業の内容については、前ページの下の表のようになります。田、畑を合わせた農地の総区画整理面積は、二八四・七畧。これは、村内の農地面積の約七十四割に及びます。また、新設・整備された農道は、延長で約二十八・〇です。仮に一本の道にすれば、実に下呂町まで到達するほどの距離となります。

そのほかにもほ場整備によってわたしたちを取りまく生活環境は大きく変わり、さらに他の関連事業も加えて今までなかった新しい活動

も生まれましました。中でも農家の水稲作業は、大きな変化を遂げました。それまでは、各個人や隣近所などの共同作業で行われていた耕起、

代かき、田植え、刈取りといった一連の作業は、東白川村機械化営農組合へ委託して行うようになりました。この組合は、昭和六十三年に発足したもので、稲作の諸作業を一貫して行うものです。昨年度は、作付面積八十七畧のうち、その四分の三にあたる六十二畧を受託しました。また、昭和六十年には、水稻育苗施設（陰地）が、平成元年度には、穀類乾燥調整施設ライスセンター（中通）が発足し、村の水稻耕作機械化一貫体系が確立しました。

こうした農業の機械化によって農繁期にはなかなか家を離れることができなかつた農家のみなさんのいわゆる余剰労働が生み出される結果となつたのです。こうした労力を生かそうと考へ出されたも

のの一つが企業の誘致です。昭和六十二年から操業を開始した岐阜部品工場は、若い世代のUターンという波及効果を生みました。さらに稲作に代わる農業として注目をしたいのは、夏秋トマト、夏秋ナスに代表される園芸作物の振興です。整備された農地を生かし行つた園芸作物の栽培は、平成元年には、販売額で一億円を突破。中でも夏秋トマト、ナスは、上の表が物語るように、生産者作付面積ともに拡大。今や村の重要な基幹作物に成長しました。この夏秋トマトの規格外品から生まれた新しい特産品が、ト

	夏秋トマト		夏秋なす	
	S60年	H5年	S60年	H5年
面積	0.8 ha	3.7 ha	0.3 ha	2.4 ha
生産者	9人	24人	4人	23人

自分たちの手で美しく…

去る七月から十一月にかけて、村内の土地改良の各工区の環境整備作業が行われました。これは、各工区内において、組合員のみなさんを中心に、斜面の草刈りや水路にたまった土砂の除去、水路等の修繕を行ったもので、広いところでは、期間内に三日間をかけ実施したところもあつたようです。これまでは、各家庭など

の整備を行ってきましたが、今回のように組合員のみなさんがまとまって作業をしたことは初めての試み。今後も各工区の事業として毎年続けられます。

畑総事業内容

工区名 (集落名)	
事業実績	
区画整理	畑 (ha)
区画整理	田 (ha)
基幹農道	(m)
支線農道	(路線)
橋梁架設	(基)

ほ場整備の間接的な効果として、こうして新しい特産品を生んだ村おこし会社ふるさと企画の設立も挙げられます。

平成二年に誕生した同会社は、これまでに作られた農産加工施設味の館、特産品販売施設つちのこ館、宿泊体験施設こもれびの館を運営し、今では雇用者の数も三十人に達しました。ほ場整備の効果は、雇用の場を広げ、地場産業の推進にも幅広い広がりを見せているのです。



神土西工区での環境整備(中谷)



▲献上粟の餅つきは
小雨の中で行われました

「感謝餅なげ」は人・人・人



▲「なかなかうまくいかない」木工教室—
「お茶の手もみコーナー」子どもたちも挑戦



カメラポ

▼今年が目玉の1つ「神楽獅子」(子護神社のみなさん)



な心で る暮らしを 産業祭

去る十一月二十一日東白川小学校を会場に「第十四回東白川村産業祭」が開催されました。一年の締めくくりともいえるこのイベント当日は、今年一年を象徴するかのような時折強い雨足となる一日となりましたが、一番心配された人出にさほど影響は無く、千六百人を超える参加者が訪れ大成功となりました。

今 回で十四回めを数える、「東白川村産業祭」。「豊かな心で、ゆとりある暮らしを！」が今回のテーマとなりました。

は見事的中してしまいました。昨年までは、神土運動場と中学校体育館をメイン会場として行っていましたが、今年の会場は小学校。もちろん駐車場を考慮してのことです。

この産業祭、農業はもとより林業、商工業まで村の各種の産業が一堂に会して行い、いわば一年の総決算ともいえるイベントです。

平成五年という年を全国的な視野で振り返ってみると、「底の見えない大不況」「天候不順」「度重なる自然災害」「稲の凶作」など…。村への影響はさほどなかったものの、明るい話題の少なかつた一年となりました。

「この広い駐車場が埋まるだろうか」。スタッフ側の一番の心配は、「人出」でしたが、その心配もふたを空けてみれば、お昼ごろのピーク時には、小学校校庭の特設駐車場は満杯。参加者数は、一日で千六百人を数え、予想以上の人出となりました。

毎年、各種団体などからの趣向を凝らしたバザーや展示物など盛りだくさんとなりますが、今年が目玉といえは、「神楽獅子」でしょう。

「そういう年だったからこそ明るい話題で締めくりたい」とそんな願いも込められたイベントとなりました。

当日は、朝から雨。雨の中で行われた

前日準備の際の心配

今回参加したのは、神田神社、越原神社、子護神社の各保存会の皆さん。もともとこの獅子舞の起源を調べると、百獣の王といわれる獅子の威力で邪気魔性



▲体育館内は華やかな
雰囲気…
(花かざりコーナー)

「うーん 見事なできばえ…」

▼ — 華道教室 —



「思っていたよりおいしかった…？」

▼ — 茶道教室 —



◀屋外会場は各種バザーで大にぎわい！



▲今年も話題沸騰「大鍋まつり」

豊か ゆとりあ 第14回

をはらう。ことから
生まれたものとかな。

現在は、大切な郷土芸能
として保存され、各神社の
例祭に舞われていますが、一度
にたくさんさんの神楽獅子が見れる
とあって大好評。勇猛に舞う獅
子舞の力で、来年はすばらしい
年になるかもしれません。

このほか体育館内では、お茶
まつり、花かざりコーナー、ギ
ネス展示など所狭しと目白押し。
一方小学校駐車場を利用した
屋外会場には、三十店舗を超え

るバザーイベントが立ち並びまし
た。中でも昨大好評につき、今
年も行われた「大鍋まつり」は、
人気の的。今年のメニューは、
粟ぞうすい(農業委員会)、鮎
ぞうすい(農業婦人クラブ)、
しし鍋(園芸振興会)、もつ鍋
(ゆうゆうクラブ)、すいとん
(かすみ草)、石狩鍋(観光協
会)。どの鍋も工夫を凝らした
味つけで、用意された千八百食
分は、ほぼ完売となりました。
お天気には裏切られたものの
体も心も温まった一日でした。

産業祭に合わせ帰郷

さとがえり

産業祭前日の十一月二十日か
ら一泊二日の日程で東白川中京
村人会(会長今井利也さん)の
皆さんが「里帰りツアー」を実
施しました。

参加した会員は、総勢二十名。
今回は、「こもればの館に宿泊
し、ふるさとの産業祭へ参加し
よう」という目的で行われたも
のです。

二十日午後、こもればの館へ
と集合した皆さんは、さっそく
村内めぐりへ出発。

あいにくの天候でしたが、は
なのき会館、役場庁舎、瀬音公

園の各建設現場や水源地、つち
のこ館などを見学。また、翌二
十一日の産業祭では旧友や、親
戚の人たちと懐かしい話。深ま
るふるさとの秋を心行くまで満
喫されたようでした。



つちのこ館でお買物



フランスのフリーマーケット

ヨーロッパ

欧州農業視察紀行

去る十一月二日から十二日までの十一日間にわたり「欧州農村生活研修視察団」（日本農業新聞社主催）の一員として大神の桂川陽子さんが、フランス・ドイツ・スイスの三か国を訪問しました。

「女性の目」で見たヨーロッパの農業は、いったいどんな風に写ったのでしょうか。帰国後間もない桂川さんを訪ねました。

印象とは違ってた

フランスは大農業国

今回の視察団は、農業に携わる女性を中心に全国から四十四人が参加。この中で岐阜県からの参加者は十二人でした。

視察は、ドイツまわりとフランスまわりの二班にわかれ、桂川さんは、フランス、スイス、ドイツとまわるB班の一員となりました。

「海外旅行は初めて」という桂川さん。行く途中での高度二万メートルから見下ろした白く光る北極の景色のすばらしさもさることながら、最初の訪問地、フランス・パリでの農業事情は、強く印象に残ったようです。

「パリといえば、エッフェル塔や凱旋門などの印象が強く、とても華やかでおしゃれな所と



フランスの農家

思っていました、まったく大きな農業国なんです。桂川さんが注目をしたのは、その農業形態です。パリ視察地の一つであった穀物農家では、小麦を中心に二〇〇畝という広大な土地を三十六歳の若い経営主が、機械化によって取り組んでいたとか。各農家とも大きな倉庫を持ち、穀物の価格の高い時に出荷するシステム。まさに大農業です。さらに国事態が、こうした若い農業従事者に対して、大きな支援を行っているとのこと。

「フランスでも日本と同様、後継者不足は大きな問題となっているようですが、若手の育成という面では、フランスの方がはるかにすすんでいるように感じました」と桂川さんは話してくれました。

おしらせ

平成六年度より固定資産税の評価額が変わります

税負担はゆるやかに

平成六年度は固定資産税の評価額の年当たり、土地と建物との評価額が変わります。特に宅地については、国土庁が発表する地価公示価格を元にして算定する方法に切り替わりました。そのため、高いところでは評価額が三倍近くに上昇することもあります。そこで、税負担が急上昇しないように各種の特例措置が盛り込まれました。

①住宅用地の特例の拡充
二〇〇㎡までは六分の一、それ以上の分は三分の一に税額が軽減されます。（現在は、四分の一と二分の一）

②急激な負担増の回避措置
評価上昇の割合の高い宅地については、上昇の程度に応じ税額が四分の三から二分の一まで軽減されます。

③負担調整措置の実施
①と②の措置を行っても、まだ税負担が相当増える場合も考えられるので、最高でも年間の負担増が十割以内となる負担調整がとられます。



④家屋の評価
家屋については、耐用年数の短縮などの措置が行われるので、三割程度評価額が引き下げとなります。

「宅地評価の方法」

宅地の評価は、地価公示価格や、隣接町村との均衡を図るため不動産鑑定士が鑑定することになりました。

本村でも全部で五十箇所の宅地の標準地を鑑定依頼しました。したがって、場所により上昇率には一倍弱から三倍弱までの差があります。

50人が大人の仲間入り

東白川村成人式

一月十五日新成人の門出を祝

見る

一目見ようと大集合
いにしえのロマンに浸る



住居跡を囲んでの説明会

産業祭が行われた十一月二十一日、陰地遺跡では、県文化財保護センターが主催した現地説明会が行われました。

七か月間発掘調査にあたられた各務光洋さんが出土品や住居跡の遺構などこれまでの成果を説明。雨の中で説明会となりましたが、遠くは郡上からという人も含め百五十人を超える参加者が熱心に耳を傾けました。

走る

快挙！東中生徒
加茂駅伝優勝



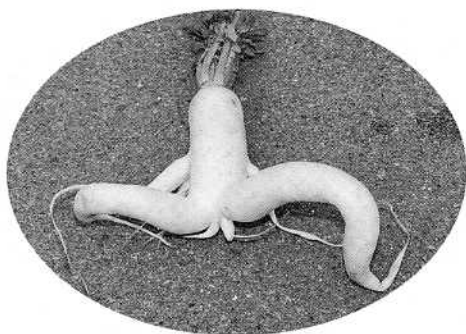
たすきの受け継ぎがポイント

去る十二月五日美濃加茂市周辺を会場に行われた「加茂駅伝大会」の中学生の部において東白川中学男子チームが見事優勝しました。

一区と七区で区間賞となるなど二位に十九秒の差をつける一時間九分四二秒の好タイムでした。また、女子チームもアベック優勝というわけにはいきませんでした。参加十チーム中堂々の六位一本のたすきをスタートからゴールまで受け継いでいく駅伝。参加した子どもたちにとっては、その結果以上に、何かもつと素晴らしいものをつかんだ大会となったことではないでしょうか。

育つ

芸術と見るべきか
それとも……………



「案外簡単に引けたんですよ」と話してくれたのは、中通の安江フミ子さん。

自然のいたずらというべきかはたまた芸術と見るべきか？何とも表現しがたいこの大根。少々エロティックに見えてしまうのは私一人でしょうか。

平成五年も珍品の話題には事欠きませんでした。最後まで笑いを提供してくれました。

くコースは、グラウンドで走るようなわけにはいきません。陸上部の無い中学校で、今回の選手団は今井修輔さん、安江直也さん、今井大介さん、土井達也さん、今井雄平さん、安江純さん、斎藤潤さん、今井克武さん、安江洋平さんの九人。十一月中旬から下校時間後わずか三十分程度の練習にもかかわらず十二チーム中、



太健闘の東中男子チーム

■戸籍の窓―敬称略（十一月一日）十二月十五日



誕生おめでとう
ございます

（大明神）田口 浩由 浩太郎
尚代 浩太郎
（柏本）安江 雅彦 果菜子
千佳子
（黒淵）安江 真治 平原
みのり
（上親田）安江 昭久 慶士
陽子 慶士
（長男）
（長女）

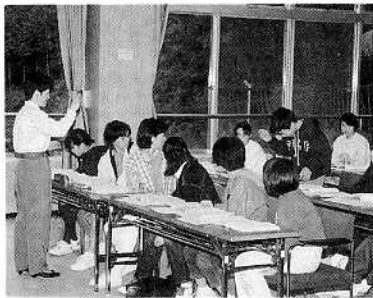


いつまでも
おしあわせに

ん 古田 耕一（上親田）
田口 幸子（平）
ば 安江 全生（宮代）
清水 理香（白川町）
じ 安江 義人（黒淵）
遠藤 由紀（萩原町）
い 安江 友博（陰地）
今井 裕香（西洞）
け 栗本 丈児（柏本）
小島 智（中津川市）



おくやみ
申しあげます



手話で自己紹介

十一月十三日中学生を対象にボランティアスクールが行われ

学ぶ 「福祉の芽」育っています！ ボランティアスクール

ました。この研修会は、「福祉の芽を育てよう」と社会福祉協議会が昨年から主催したもので、参加者は、二年連続参加の一人を含め、昨年より三人多い二十一人。午前中は「手話教室」が、午後からせせらぎ荘見学とグループ討議という内容。

これからの社会福祉は重要な課題の一つだけに若芽たちには大きな期待が集まっています。



6,828語を収めた本格派！

教育委員会発刊のふるさとシリーズ第六段「ふるさとのこと

ば」がこのほど刊行されました。今残しておかないと、いつかは村のことばが忘れられてしまう。そんな願いから誕生した同書は、辞書型式で三百三十三ページにわたるもの。中身は単に方言の意味ばかりでなく、地名なども解説しています。一家に一冊ぜひお求め下さい。

▼一冊二、〇〇〇円ご購入は、役場窓口か教育委員会事務局へ。

綴る これぞまさしく「東白川語辞典」 「ふるさとのことば」発刊

輝く 「良い歯」はボクたちの自慢！ 東白川小学校文部大臣表彰

このほど東白川小学校が「全日本良い歯の学校」として文部大臣表彰を受賞しました。



食べたら歯みがき

この賞は、全国から選ばれた十三校のうち六校だけに与えられるまさに「歯科部門日本一」という誇りでも過言ではない快挙です。

これまで小学校では、保健・衛生・環境などの各分野で毎年のように数々の賞を受賞しましたが、今回の賞は初めての経験。木村龍幸校長先生は「開校以来、歯科部門はもとより健康づくり

に力を注いでこられた諸先生方の指導はもちろんですが、PTAや行政みなさんの深い理解と協力、さらには子どもたち自身が関心を持って取り組んだ成果でしょう」と感想を話して下さいました。



歯科部門の数々の賞を手にする保健委員のみなさん

小学校では歯科部門においてこれまで、校医の熊崎道一先生の指導のもと大変ユニー

- 松岡 はる 73歳(大明神)
- 板垣うめよ 75歳(黒 淵)
- 安江 正逸 78歳(下親田)
- 栗本 力三 85歳(柏 本)
- 善意の寄付■敬称略
- 【社会福祉協議会へ】
- 現金十万円 村雲光好(加倉尾)
- 現金千円 安江たがゑ(日向)
- 現金一万円 立正俊成(親田地区(代表) 安江操)
- 現金一万円 Тайガイラビツト(産業祭バザー売上金)
- 【東白川中学校へ】
- 竹ぼうき十二本 今井和道(平)
- 【東白川小学校へ】
- 本三冊 野村末子(柏本)
- 【神土保育園へ】
- もみの木 田口治道(平)
- 【越原保育園へ】
- もみの木 桂川政一(日向)
- 【五加保育園へ】
- 自転車一台 今井可奈恵(下野)
- 工事入札の結果
- ①は入札期日 ②は落札金額
- および落札業者
- ▼尻尻東線橋梁修景工事
- ①十一月二十九日 ②一千五百八十六万二千円、日本鋼管(株)名古屋支社
- ▼五介の滝公園整備工事
- ①十二月八日 ②二千六百六十六万二千円、新田建設



村での生活が気に入っています。みなさんはとても親切で親しくして下さいませ。

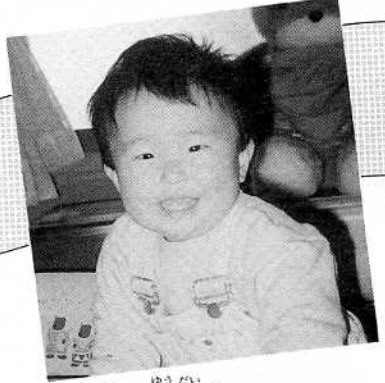
つ好きになりました。

その寒さも少しづつ
ワイと比べると少
し寒いですが、

思います。こちらへ
きて五か月になりま
した。ここは、ハ

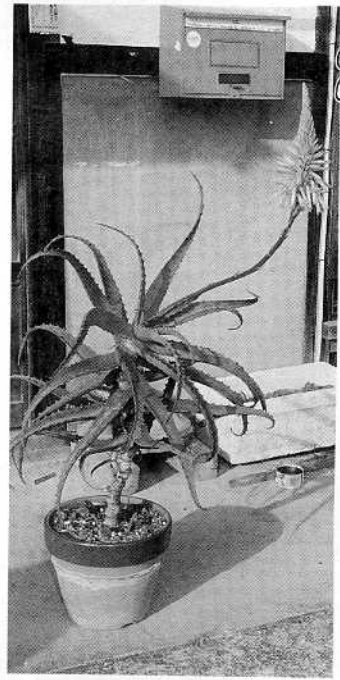
「アロハ」とはハワイの言葉
で、「こんにちは」という意味
です。ここでみなさんが使
って下さるといいなと

この八月からAET(英語指
導助手)として赴任したクリス
先生のお便りを紹介します。



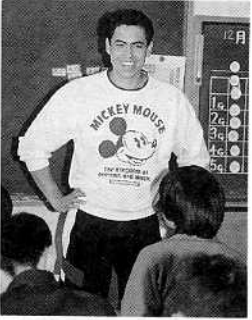
▲古田 友大くん

(精子さん長男—上親田)



「アロエの花」つてご存じで
すか。神付の岩井まさるさん宅
で咲きました。オレンジ色で簡
単になった珍しい花です。

今、一番の楽しみは、ここで
初めて新年を迎えることです。
私はみなさんが、どういう風
にお正月を迎えるのか本当に見て
みたいと思っています。アメリ
カでは、大晦日の晩にその年
一番めちやくちやなパーティー
を開きます。みんなでシャンペ
ンを飲み、夜中の十二時になる
と「ハッピー・ニューイヤー」
と叫びます。ほとんどのアメリ
カ人は、新年に新しい決意をし
ます。これは、新しい年に際し
どれだけ人間的に成長できる
ように自分自身に言い聞かせる
ためです。例えば「体重を減ら
す」とか「タバコをやめる」と
いったことです。私の新年の決



授業中はいつも笑顔で

意は、二千の漢字を学ぶこと
です。みなさんもこの習慣を試し
てみてはいかがでしょう。
私はこの場をお借りして、私
の全ての生徒たちにお礼をい
たいです。彼らはとても素晴ら
しいです。私は心の底から教え
ることと、彼らと過ごしている
ことを楽しんでるのです。
クリストファー・サイスキー
〔訳/安江三千代 社教指導員〕

お話を を きかせて ください

独居老人訪ねある記

ます。それに近所のみな
さんが親切にして下さい
ますしねえ。今年も野菜
を作ったんですよ。ほと
んど肥料なんかやらんも
んで本場の「健康野菜」
ですけどねえ……」。

「三年前に主人を亡くした時
一緒に住むようにと息子夫婦が
すすめてくれましたが、ここで
生まれ育った者だし、なにより
みたま様を守っていかにかい
んでねえ……。なるべくひとさま
に迷惑をかけないようにと考える
毎日ですよ」。

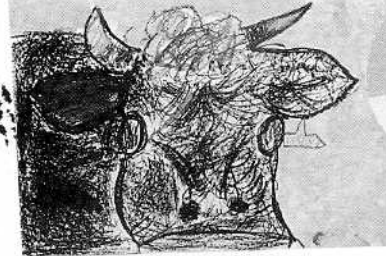
「家を出ることが少な
くなった」という竹代さんの楽
しみは、月一回のせせらぎ荘の
利用だそうですが、もう一つ大
きな楽しみがあります。それは、
遠くへ出ているお孫さんたちが
手紙や写真を送ってくれること
です。「いつも返事をすると思っ
てはいますが、なかなか書けなく
……。元気でやっていることが
わかるだけで安心ですし、自分
自身もまだまだ頑張ろうという
気持ちになりますよ」。

数年の間に本当にいろ
いろなことがありすぎま
したから。それでもいつ
までもよくよしていた
ら、自分までだめになっ
てしまふと思ひ、天気
の良い日などは、畑へ出
て体を動かすようにしてい



安江竹代さん

わたしの作品

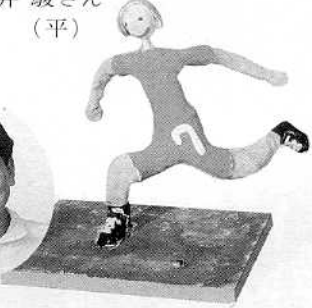


▲「うし」
東白川小学校1年生
今井 駿さん
(平)



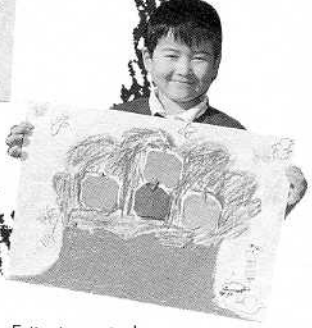
▲「りんごの木」
越原保育園
たぐちめぐみちゃん
(大明神)

▲静物「ピン」
東白川中学校1年生
安江由佳さん(大明神)



▲静物「ピン」
東白川中学校1年生
古田雄貴さん(大口)

▲「アルシンドン」
東白川小学校6年生
安江 太さん(栃山)



▲「りんごの木」
越原保育園 かつらがわようじくん(日向)

広報文芸

● 短歌

- 山の登に串にぶち刺す初秋刀魚焚火掻き出し速火に炙る 安江 香
- おそ咲きのつくばね草を供へたり異国に散りし義兄の墓前に 安江 化平
- 千里浜の渚を走るバスの中山住みの吾海を見飽かず 安江 澄
- 御嶽はくつきりそこに聳え立ち山の湯はやも雪囲ひなす 今井 かな
- 河原より拾ひし胡桃きしきしと干して楽しむ老人を見る 安江 龍玉
- 買ひくれし小さき山に年を経て木は育ちたり父に感謝す 田口 一枝
- 抑へられ突き上げられて大正の女は耐えつつ平成を生く 三戸 きり
- 人あふるる飛騨高山の朝市に遠く来たりて吾も旅人 小池 弘子
- 慰霊祭の斎文あぐる声高く静もり返る「こもれびの里」 安江 節子
- 久々に集いし戦友ら山の湯に言葉えらばず裸とはだか 安江 嘉久一
- 甘露煮の甘き香りが部屋ぬちにあふれて無花果の収穫も終ふ 安江とくよ
- 花束を抱きて学舎を去り行ける娘らは明日より白衣のナース 小林 道子
- さりげなく母の後に廻り込み手加減して揉む薄き撫で肩 安江 順子
- 南天の陰にかくるる如く白菊の花に朝露光る 荻田 清美
- 老い吾等二人となりて早二年鯉ますの店未だ閉ざさず 早瀬 久子
- 仕事の手休めて仰ぐ山の端の紅葉散りそめはや秋ふかむ 安江 守平
- 子猫来て可愛草に家中のマスコットとなり笑声絶えぬ 安江すみよ
- 姫君の嫁入道具の数々に権勢誇りし往時のびぬ(徳美にて) 伊藤 美枝
- 年丈けて尚生く先の見えぬまま悲しくもあり明日を夢見つつ 伊藤 重雄

あなたも作品をお寄せくださいー初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します●偶数月の二十日までに神戸伊藤重雄宛に出して下さい。



駅伝競走
という競技
はテレビ中
継を見てい
ても実に面白い。面白いなどと
言えば選手には申し訳けないが、
なぜ面白いだろうか? ▼一区
のランナーがスタートする。走
るにしたがってだんだん差が広
がる。一分近いリードで二区
のランナーにたすきを渡す。こ
れだけ差をつければ大丈夫だろう
……などとはとても思えない。
▼四区あたりには心臓破りの坂で
もあろうものなら、三人抜き、
四人抜きであつたというまに逆転
される。▼そのスリルもさるこ
とながら、選手にリレーされる
一本のたすきが選手ばかりでな
く、見る者の心を縛るのである。
▼十二月八日に行われた可茂駅
伝で、東白川中学チームが優勝
した。始めての正式出場で初優
勝、しかも一区から七区までト
ップを守った完全優勝という快
挙である。▼しらくとか無関心
が巾を効かす若者の世代に、た
すきで心を結んだロマンが、キ
ラリと光った。